

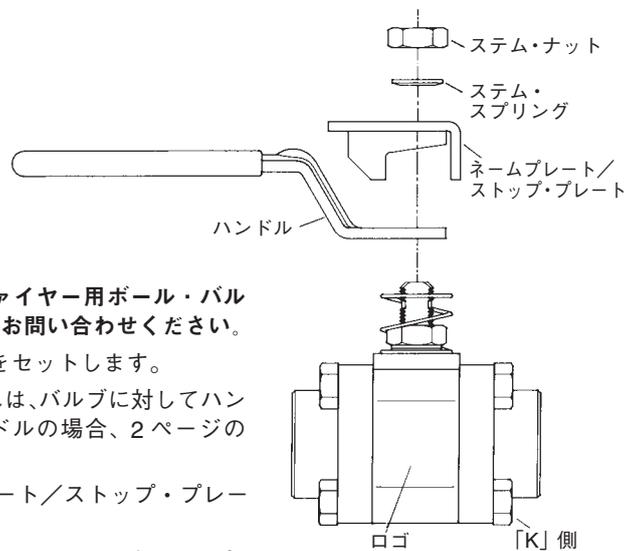
ボール・バルブ 60 シリーズ 8 本ボルト構造 ロッキング・ハンドル取り付け手順説明書

キット内容：

ロッキング・ブラケット ストップ・ロック・プレート*
ボディ・ファスナー（2個）* 手順説明書

* ロング・ファスナーは、SS-51K-S62L-BK および SS-51K-S-51K-S62XL-BK のキットにのみ含まれます。

* S62 シリーズ・バルブには、一体型ハンドル/ストップ・プレートが付いています。このハンドルは、S62 シリーズ用ロッキング・ハンドル・キットに含まれるハンドル/ストップ・ロック・プレートに交換します。



注意：FM (Factory Mutual) Approvals 保持のため、F60T シリーズ・ファイヤー用ボール・バルブの分解/再組み立てにつきましては、スウェーデンロック指定販売会社までお問い合わせください。

1. バルブを「開」状態にして、Swagelok ロゴが手前を向くようにバルブをセットします。

注意：手順2に進む前に、ハンドルの向きを書き留めておいてください。これは、バルブに対してハンドルを同じ向きに取り付けるために必要となります（だ円形ハンドルの場合、2ページの図 1a および図 1b をご参照ください）。

2. レンチを使用して、ステム・ナット、ステム・スプリング、ネームプレート/ストップ・プレート、ハンドルを取り外します。

3. ネームプレート/ストップ・プレートを廃棄します（S62 シリーズの場合：ハンドル/ストップ・プレートを廃棄します）。ステム・ナット、ステム・スプリング、ハンドルは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。

4. バルブ側面の「Swagelok」という文字を目印にして、「K」側にある4個のボディ・ファスナーを緩めます（図をご参照ください）。バルブの「K」側にある**上部2個**のボディ・ファスナーのみ取り外します。63～68 シリーズの場合：ファスナーは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。S62 シリーズの場合：ファスナーを廃棄し、キット内の2個のロング・ファスナーを使用します。

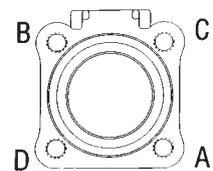
5. 該当するバルブ・シリーズの図（2ページ）をご参照ください。Swagelok ロゴを手前に向けた状態で、ロッキング・ブラケットの取り付け用穴を、バルブの側面（下の表に記載）にあるボディ・ファスナーの穴と合わせます。

バルブ・シリーズ	バルブの側面
63～68	右側または「K」側
S62	左側または「S」側

ロッキング・ブラケットの正しい位置につきましては、該当する図をご参照ください。ブラケットの一面は、バルブのエンド・コネクションの周囲に沿うように、わずかに内側にカーブしています。

6. ロッキング・ブラケットを所定の位置に固定し、ボディ・ファスナーまたはロング・ファスナー（S62 シリーズの場合）を差し込んで締めめます。

7. バルブを全「開」状態にして、ボディ・ファスナーを図中のアルファベット順（十字交差の順）に締め付けます。締め付けの際のトルク値については、下の表から該当する「バルブ・ボディ材質」および「ファスナー材質」を見つけ、その「1回目」の欄をご参照ください。2回目以降のトルク値についても、手順は同じです。



S60P / T60M シリーズ・バルブ
(T60M シリーズ・バルブは、62 シリーズにはご注文いただけません)

B60T / F60T / Z60T シリーズ・バルブ
(62 シリーズにはご注文いただけません)

バルブ・シリーズ	ボディ材質	ファスナー材質	トルク値 (N.m)				
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
S62P	ステンレス鋼	ステンレス鋼	0.57	1.1	2.3	4.5	4.5
	炭素鋼	炭素鋼					
63	ステンレス鋼	ステンレス鋼	1.1	2.3	4.5	11.3	11.3
	炭素鋼	炭素鋼					
65	ステンレス鋼	ステンレス鋼	2.8	5.7	11.3	33.9	33.9
	炭素鋼	炭素鋼					
67	ステンレス鋼	ステンレス鋼	4.0	8.5	17.0	45.2	45.2
	炭素鋼	炭素鋼					
68	ステンレス鋼	ステンレス鋼	4.5	11.3	22.6	67.8	67.8
	炭素鋼	炭素鋼					

バルブ・シリーズ	ボディ材質	ファスナー材質	トルク値 (N.m)						
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
63	ステンレス鋼	ステンレス鋼	1.1	2.3	4.5	11.3	17.0	17.0	—
	炭素鋼	炭素鋼	1.1	2.3	4.5	9.0	14.1	14.1	—
65	ステンレス鋼	ステンレス鋼	2.8	5.7	11.3	22.6	33.9	45.2	45.2
	炭素鋼	炭素鋼							
67	ステンレス鋼	ステンレス鋼	4.0	8.5	17.0	33.9	45.2	56.5	56.5
	炭素鋼	炭素鋼	4.0	8.5	17.0	33.9	42.4	50.9	50.9
68	ステンレス鋼	ステンレス鋼	4.5	11.3	22.6	56.5	67.8	79.1	79.1
	炭素鋼	炭素鋼							

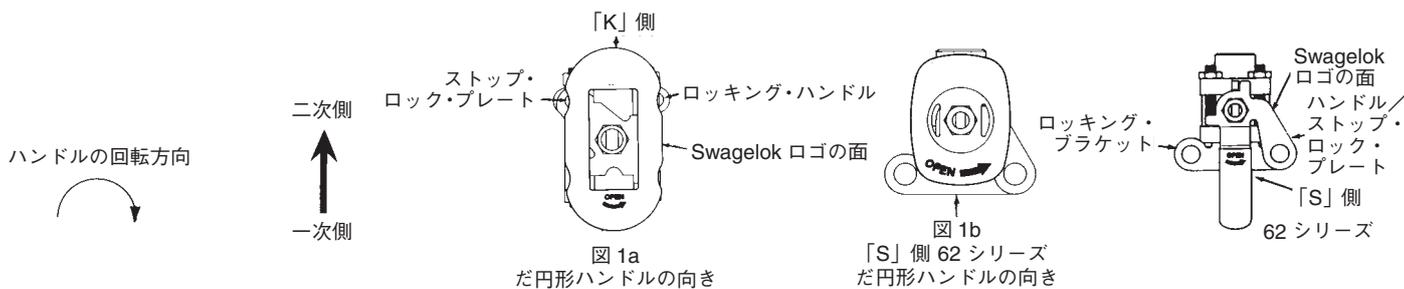
8. 手順1で書き留めた向きにハンドルをバルブ・ステムにセットし、固定します（図をご参照ください）。
9. ストップ・ロック・プレートをステムおよびハンドルにセットします。正しい位置につきましては、該当する図をご参照ください。
注意：S62Pシリーズの場合：ハンドル/ストップ・プレートを、キット内のハンドル/ストップ・ロック・プレートに交換します。
10. ステム・スプリング（凹面を上にする）をステムにセットします。
11. ステム・ナットをステムに取り付けて、指締めします。
12. ハンドルを固定し、下の表に記載のトルク値でステム・ナットを締め付けます。

S60P / T60M シリーズ・バルブ
 (T60M シリーズ・バルブは、62 シリーズにはご注文いただけません)

バルブ・シリーズ	S62P	63	65	67	68
トルク値 (N・m)	2.8	5.7	11.3	17.0	17.0

B60T / F60T / Z60T シリーズ・バルブ
 (62 シリーズにはご注文いただけません)

バルブ・シリーズ	63	65	67	68
トルク値 (N・m)	8.5	17.0	22.6	22.6



ボール・バルブ 60 シリーズ 2 方タイプ、4 本ボルト構造 ロッキング・ハンドル取り付け手順説明書

キット内容：

ロッキング・ブラケット ストップ・ロック・プレート* ボディ六角ナット（2個）

ボディ・ファスナー（2個） 手順説明書

* 62 シリーズ・バルブには、一体型ハンドル／ストップ・プレートが付いています。このハンドルは、62 シリーズ用ロッキング・ハンドル・キットに含まれるハンドル／ストップ・ロック・プレートに交換します。

1. バルブを「開」状態にして、Swagelok ロゴが手前を向くようにバルブをセットします。

注意：手順 2 に進む前に、ハンドルの向きを書き留めておいてください。これは、バルブに対してハンドルを同じ向きに取り付けるために必要となります（だ円形ハンドルの場合、2 ページの図 1a をご参照ください）。

2. レンチを使用して、ステム・ナット、ステム・スプリング、ネームプレート／ストップ・プレート、ハンドルを取り外します。

3. ネームプレート／ストップ・プレートを廃棄します（62 シリーズの場合：ハンドル／ストップ・プレートを廃棄します）。ステム・ナット、ステム・スプリング、ハンドルは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。

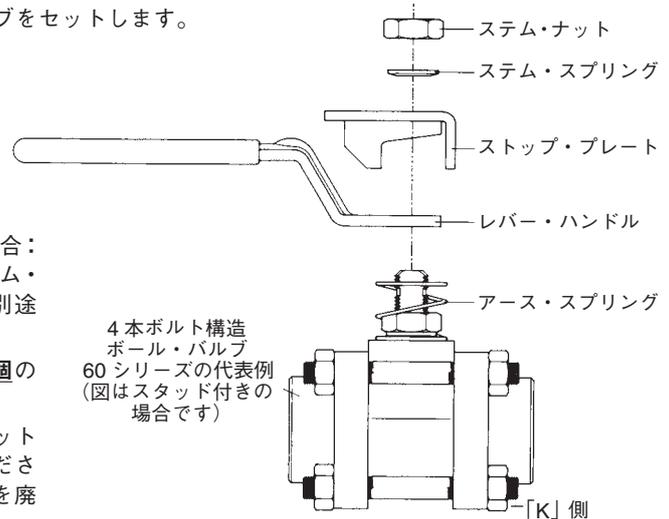
4. 4 個すべてのボディ・ファスナー／スタッドを緩めます。**上部 2 個**のボディ・ファスナーのみ取り外します。

注意：スタッドで組み立てられているバルブの場合、スタッドおよびナットは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。ファスナーで組み立てられているバルブの場合、ファスナーを廃棄し、キット内のロング・ファスナーおよびナットを使用します。

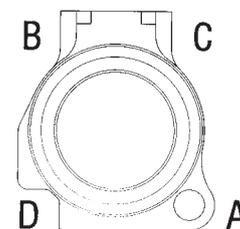
5. Swagelok ロゴを手前に向けた状態で、ロッキング・ブラケットの取り付け用穴を、ボディ・ファスナーの穴と合わせます。ロッキング・ブラケットの正しい位置につきましては、該当する図をご参照ください。ブラケットの一面は、バルブのエンド・コネクションの周囲に沿うように、わずかに内側にカーブしています。

6. ロッキング・ブラケットを所定の位置に固定し、ボディ・スタッド（スタッドで組み立てられているバルブの場合）またはロング・ファスナーを差し込み、ボディ六角ナットを取り付けて指締めします。ファスナーのヘッドを、取り外していないファスナーと同じバルブ・ボディのエンドに向けると、容易に締め付けることができます。

7. バルブを全「開」状態にして、ボディ・スタッド／ファスナーを図中のアルファベット順（十字交差の順）に締め付けます。締め付けの際のトルク値については、下の表から該当する「バルブ・シリーズ／ボディ材質」および「ファスナー・タイプ／材質」を見つけ、その「1 回目」の欄をご参照ください。2 回目以降のトルク値についても、手順は同じです。



バルブ・シリーズ／ボディ材質	ファスナー・タイプ／材質	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
62 / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド／ステンレス鋼または炭素鋼	0.57	1.1	2.3	4.5	4.5
62 / 真ちゅう	ファスナー／炭素鋼	0.57	1.1	2.3	3.4	3.4
63 / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド／ステンレス鋼または炭素鋼	1.1	2.3	4.5	11.3	11.3
63 / 真ちゅう	ファスナー／炭素鋼	1.1	2.3	4.5	6.8	6.8
65 / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド／ステンレス鋼または炭素鋼	2.8	5.7	11.3	33.9	33.9
65 / 真ちゅう	ファスナー／炭素鋼	2.8	5.7	11.3	20.3	20.3
67 / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナー／炭素鋼	4.0	8.5	17.0	45.2	45.2
67 / ステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド／ステンレス鋼	4.0	8.5	17.0	33.9	33.9
68 / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナー／炭素鋼	4.5	11.3	22.6	67.8	67.8
68 / ステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド／ステンレス鋼	4.5	11.3	22.6	56.5	56.5



8. 手順 1 で書き留めた位置にハンドルをバルブ・ステムにセットし、固定します（図をご参照ください）。

9. ストップ・ロック・プレートをステムおよびハンドルにセットします。正しい位置につきましては、該当する図をご参照ください。

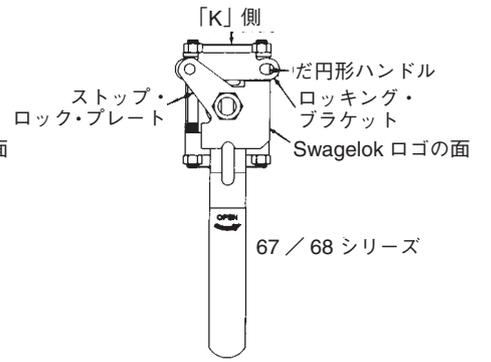
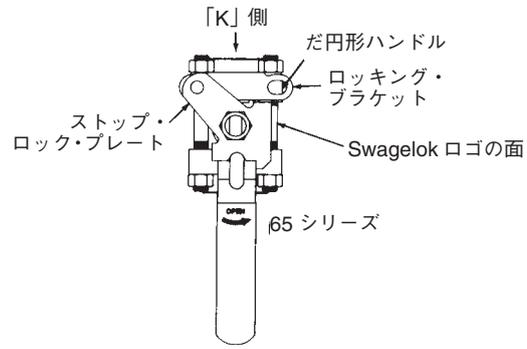
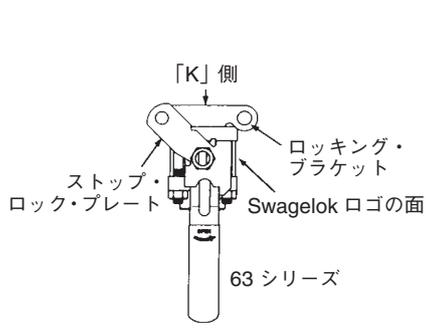
注意：62 シリーズの場合：ハンドル／ストップ・プレートを、キット内のハンドル／ストップ・ロック・プレートに交換します。

10. ステム・スプリング（凹面を上にする）をステムにセットします。

11. ステム・ナットをステムに取り付けて、指締めします。

12. ハンドルを固定し、下の表に記載のトルク値でステム・ナットを締め付けます。

バルブ・シリーズ	62	63	65	67	68
トルク値 (N·m)	2.8	5.7	11.3	17.0	17.0



ボール・バルブ 60X シリーズ 3方タイプ、4本ボルト構造 ロッキング・ハンドル取り付け手順説明書

キット内容：

ロッキング・ブラケット (2個) ストップ・ロック・プレート* ボディ六角ナット (2個)
ボディ・ファスナー (2個) 手順説明書

* 62シリーズ・バルブには、一体型ハンドル/ストップ・プレートが付いています。このハンドルは、62シリーズ用ロッキング・ハンドル・キットに含まれるハンドル/ストップ・ロック・プレートに交換します。

1. バルブを「開」状態にして、Swagelok ロゴが手前を向くようにバルブをセットします。

注意：手順2に進む前に、ハンドルの向きを書き留めておいてください。これは、バルブに対してハンドルを同じ向きに取り付けるために必要となります (だ円形ハンドルの場合、6ページの図2aをご参照ください)。

2. レンチを使用して、ステム・ナット、ステム・スプリング、ネームプレート/ストップ・プレート、ハンドルを取り外します。

3. ネームプレート/ストップ・プレートを廃棄します (62シリーズの場合：ハンドル/ストップ・プレートを廃棄します)。ステム・ナット、ステム・スプリング、ハンドルは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。

4. バルブの側面の「Swagelok」という文字を目印にして、「K」側にある4個のボディ・ファスナー/スタッドを緩めます。**上部2個**のボディ・ファスナー/スタッドのみ取り外します。

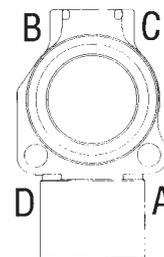
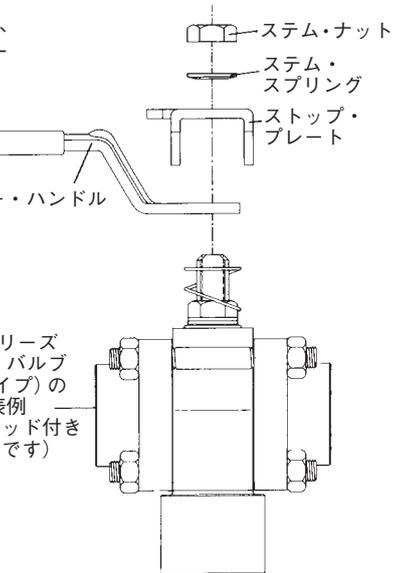
注意：スタッドで組み立てられているバルブの場合、スタッドおよびナットは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。ファスナーで組み立てられているバルブの場合、ファスナーを廃棄し、キット内のロング・ファスナーおよびナットを使用します。

5. Swagelok ロゴを手前に向けた状態で、ロッキング・ブラケットの取り付け用穴を、ボディ・ファスナー/スタッドの穴と合わせます。ロッキング・ブラケットの正しい位置につきましては、次ページの該当する図をご参照ください。ブラケットの一面は、バルブのエンド・コネクションの周囲に沿うように、わずかに内側にカーブしています。

6. ロッキング・ブラケットを所定の位置に固定し、ボディ・スタッド (スタッドで組み立てられているバルブの場合) またはロング・ファスナーを差し込みます。もう一方のロッキング・ブラケットを該当する図のようにセットし、ボディ六角ナットを取り付けて指締めします。ファスナーのヘッドを、取り外していないファスナーと同じバルブ・ボディのエンドに向けると、容易に締め付けることができます。

7. バルブを全「開」状態にして、ボディ・スタッド/ファスナーを図中のアルファベット順 (十字交差の順) に締め付けます。締め付けの際のトルク値については、下の表から該当する「バルブ・シリーズ/ボディ材質」および「ファスナー・タイプ/材質」を見つけ、その「1回目」の欄をご参照ください。2回目以降のトルク値についても、手順は同じです。

バルブ・シリーズ/ボディ材質	ファスナー・タイプ/材質	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
62X / ステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド / ステンレス鋼	0.57	1.1	2.3	4.5	4.5
63X / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド / ステンレス鋼または炭素鋼	1.1	2.3	4.5	11.3	11.3
65X / 炭素鋼またはステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド / ステンレス鋼または炭素鋼	2.8	5.7	11.3	33.9	33.9
67X / ステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド / ステンレス鋼	4.0	8.5	17.0	33.9	33.9
68X / ステンレス鋼	ファスナーまたはスタッド / ステンレス鋼	4.5	11.3	22.6	56.5	56.5



8. 手順1で書き留めた位置にハンドルをバルブ・ステムにセットし、固定します (図をご参照ください)。

9. ストップ・ロック・プレートをステムおよびハンドルにセットします。正しい位置につきましては、該当する図をご参照ください。

注意：62シリーズの場合：ハンドル/ストップ・プレートを、キット内のハンドル/ストップ・ロック・プレートに交換します。

10. ステム・スプリング (凹面を上にする) をステムにセットします。

11. ステム・ナットをステムに取り付けて、指締めします。

12. ハンドルを固定し、下の表に記載のトルク値でステム・ナットを締め付けます。

バルブ・シリーズ	62	63	65	67	68
トルク値 (N·m)	2.8	5.7	11.3	17.0	17.0

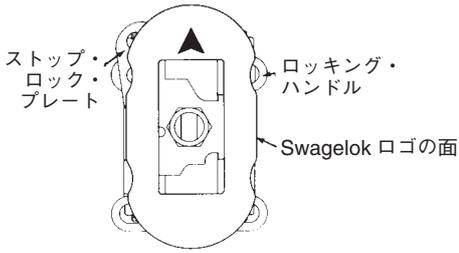


図 2a
だ円形ハンドルの向き

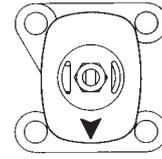
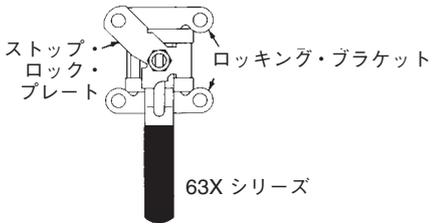
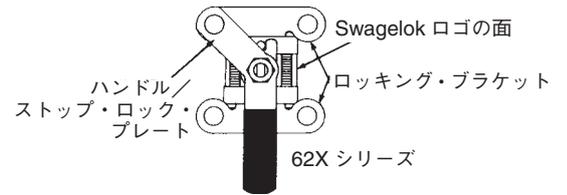


図 2b
だ円形ハンドルの向き
(62X シリーズ)

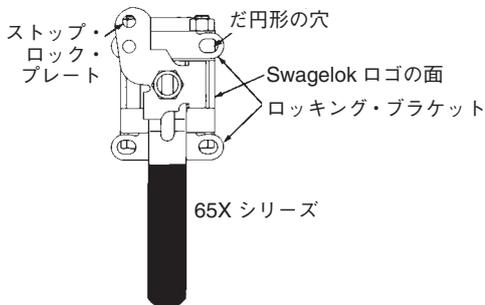


63X シリーズ

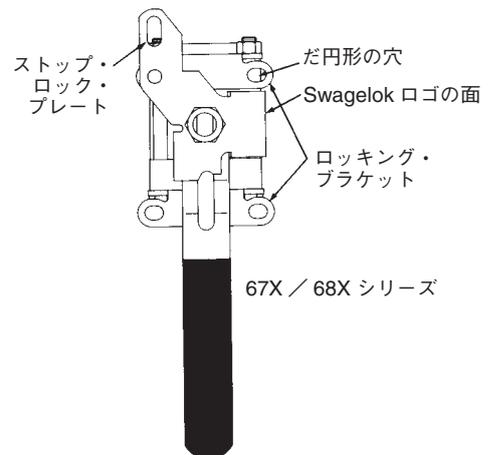
ハンドルの回転方向



62X シリーズ



65X シリーズ



67X / 68X シリーズ

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok

www.swagelok.co.jp

©1991, 1992, 1998 Swagelok Company
MS-INS-60-LOCKJ-E
May, 1998
CP Revision C
H12P